



1年生理科「光の屈折」

SAKURA II

No.26

はまぐち

心を強くもつということ



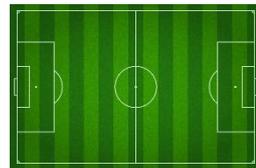
サッカーW杯カタール大会を観ている人も観ていない人も、日本チームが予選を勝ち抜いて決勝トーナメントに進んだことは知っていると思います。現時点でベスト16です。これまでも決勝トーナメントに進んだことは3回ありましたが、初戦で敗退していて、ベスト8以上になったことはありません。

今回の日本は予選リーグで【スペイン・ドイツ・コスタリカ】と同グループになり、死のグループと言われたくらい、強敵との戦いになりました。決勝トーナメントに進むのは難しいかもしれないと予想されていました。ところが、結果として1位通過となりました。「あきらめない心」がどれだけ大事かを痛感しました!

初戦のドイツ戦は、堂安選手と三重県出身の浅野選手の目の覚めるようなゴールで2-1の逆転勝ち。2戦目はコスタリカに1-0で負けてしまいました。3戦目のスペイン戦はまさに、チームの総力戦!ドイツ戦と同じように前半で1-0とリードされながらも、後半で堂安選手、田中選手がゴールを決め、見事に予選リーグを突破!今日の日付が変わる時刻に開始される決勝トーナメント「クロアチア戦」に、たくさんの人が注目しています!

■浅野選手の「着地点」■

実は、浅野選手は4年半前のW杯の日本代表には入れませんでした。その時すでに、今回のカタール大会で代表に入ることを目標に準備をスタートしていたとインタビューで話していました。有名な選手になればなるほど、代表落ちということはショックなことで、気持ちも相当落ち込むはずですが、それでも、浅野選手は誰のせいにもせず、自分自身をさらに高みに押し上げるために、できることを考え、「着地点」をしっかりと描いていたということになります。「どうして選んでくれなかったんだ?」と人のせいにするのではなく、「自分が選ばれなかった理由」「自分に何が足りなかったのか?」を分析して行動に移した結果が、今回の活躍に結びついたのでと思います。



■「伸びる人」は…■

「伸びる人」に共通しているのは、頑張っている人を「頑張っているなあ。」と認められることです。決して人をうらやんだり、嫉妬したり、うまくいかないことを人のせいにしたりしないようです。ポジティブな考え方に切り替えるのが上手です。「あの人にはかなわなくても自分なりにできることを探そう!」「自分の得意なことに目を向けよう!」「人と違う自分の良さを見つけよう!」とする姿勢をもつ方が、気持ちも楽になります。これは私の経験からも言えることです。

「言い訳や文句を言っている時間があつたら、できることをしよう。」これが成長のコツです。浅野選手は立ち止まらなかった人です。経済的に苦しい生活の中でも、学費の負担を減らすために、空き缶集めをしたことがあつたと報道されていました。当時の四日市中央工業高校のチームメイトも浅野選手が実力者でありながら、仲間にえらそうなところを見せず誰にでも優しく、回りにいつも人がいたと語っていました。

「頑張ったら頑張っただけのことがある!」これを証明してくれた人です。

さあ、今日もがんばれニッポン!



先生たちも「学びの冬」

秋から冬にかけての期間は先生たちにとっても互いの学びを深める時間でもあります。授業を参観して意見交換をする機会をもちます。その土台となる授業を二人の先生に公開してもらいました。

■森育子先生 3年生美術科(1~3組)■

2日(金)に3年生の美術科の授業公開を行いました。題材は「色鉛筆画」。色鉛筆での「着彩方法」について学ぶ授業でした。対象として森先生が選んだのは「サクランボ」です。写真をもとに色付けしていくのですが、ベースになる色、陰影の色、濃淡を出すための色鉛筆の持ち方などをタブレットPCに送られたスライドや動画から学び取るという内容でした。気付いたことや感想を述べる時間も設定されており、生徒のみんなの発表も興味深かったです。市教委から指導主事の方にも来ていただき工夫点を褒めていただきながら次に向けての助言もいただきました。

■中西彩音先生 1年生英語科(1組)■

今日5日(月)に1年生の英語科の授業公開を行いました。県内の中学校英語科の先生方、推進役として県教委の方、助言者として皇學館大学の先生にも来校いただきました。中西先生が同世代の先生方の代表として授業公開を引き受け、今回の機会となりました。授業は三人称単数現在形のまとめの段階。めあては「主語の人称に合わせて、現在形の正しい英文を読み書きすることができる」と設定されました。知識として学んだ文法を使いこなして、文をつくることができることを Goal にした授業でした。電子黒板やワークシートを活用したり、ゲーム的な要素も取り入れたりしてのスピーディーで活発な授業でした。

先生たちもみんなの学力向上のため、教科の枠を超えて互いによりよい指導方法について学び合っています。

美術の授業風景



英語の授業風景



上衣の首の後ろとズボンの裾の後ろに反射材を付ける方向で検討しています。

体操服のマイナーチェンジ

1階ホールに「紺色ベース」と「黒色ベース」2種類の体操服サンプルを展示しています。来年度から新たな生地・デザインの体操服に変更していく方向で進めています。生徒アンケートでは圧倒的に「黒色ベース」が人気です。今や伊勢宮川カラーとなった「オレンジ色」については、意見もいろいろありますが、マイナーチェンジということもあり、原案を土台にさらに検討、絞り込みを行います。